

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年 7月 8日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	2号機	エリア放射線モニター系原子炉建屋1階南側区域において、下限警報の頻発が認められたため、当該検出器を点検・修理。 なお、指示値の監視は可能。	GⅢ	7月4日
2	2号機	直流125V主母線盤(2B)において、扉押さえボルト用ハンドルの破損が認められたため、当該ハンドルを交換。	GⅢ	7月7日
3	3号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器バイパス温度制御弁(A)用空気貯槽において、安全弁からの空気漏れが認められたが、当該弁に外観上の問題がなく、空気の漏れについては正常動作の範囲内であり機能上問題ないことから対象外。	対象外	7月5日
4	4号機	非常用ガス処理系原子炉建屋東側外気差圧指示計において、指示値不良(正圧側に指示値変動)が認められたが、検出配管に雨水が浸入したことによる指示値変動であることから対象外。 なお、指示値は正常値に復帰している。	対象外	7月7日
5	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物処理建屋北側隣接の二酸化炭素ポンプ建屋(非管理区域)において、雨水の流入(西側扉下部隙間他2箇所)が認められたため、当該部を点検・修理。	GⅢ	7月4日